

發 言 通 告 書

令和 8 年 9 月 8 日

松山市議会議長 大塚 啓 史 殿

松山市議会議員 沖 野 治 朗

次のとおり通告します。

発言順位	1 6	受領日時	9 月 8 日 午前・午後	4 時 5 分	1 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式 ・ 一括方式			発言時間	約 55 分
答弁を求める者	・市長 ・教育長 ・選挙管理委員会委員長 ・公平委員会委員長 ・農業委員会会長 ・監査委員 ・公営企業管理者				

No	件名	発言の要旨
1	市民の命と暮らしを守る地域防災及び避難環境の整備について	(1) 平時から、地域を担当する市職員を配置し、自主防災組織などと連携した地域特性に応じた本市の防災対策の取組について問う。 (2) 子どもが不安や強いストレスを感じにくい避難所での居場所づくりについて本市の見解を問う。 (3) 市立小・中学校体育館への空調設備の整備スケジュールに関して設置順序の考え方を問う。 (4) 大規模地震に備えた災害時協力井戸制度の趣旨と現在の登録数について問う。 (5) 災害時協力井戸の使用方法について問う。 (6) 災害時協力井戸制度に関する周知・啓発の取組について問う。
2	持続可能な観光振興と松山観光港のアクセス強化について	(1) 愛媛県の松山港中・長期ビジョンの各施策と今後どのように歩調を合わせ、松山観光港周辺の拠点化をさらに推し進め、海の玄関口としての魅力を高めていくのか、本市の見解を問う。 (2) 松山観光港を、にぎわいの創出や観光消費の拡大、地域経済の活性化につながる滞在型拠点へと発展させるための今後の取組について問う。 (3) 高浜駅から松山観光港への鉄道延伸計画について、交通事業者等との勉強会での課題や検討内容、進捗状況について問う。 (4) 鉄道延伸の実現可能性を追求する中での、沿線地域との合意形成や国・県等との連携体制の構築及び事業の具現化に向けた今後の取組について問う。